中学１年　国語科　教材別テスト⑩

古典の世界（いろは歌・歴史的仮名遣い・古典常識）　／　漢字・古文の基礎・古典作品の知識

１年	組	番	氏名	

【注意事項】

- 問題は「一」から「四」（Ｐ．１～Ｐ．４）までです。
- 古典作品の本文は、**教科書『国語１』（光村図書）の「古典の世界」のページを開いて**確かめながら解答してよい。
- 歴史的仮名遣いを直す問題は、特に指示がないかぎり、**すべてひらがな**で書きなさい。
- 解答は、解答用紙の適切な欄に、ていねいに楷書で書きましょう。
- 句読点などの符号も一字と数えます。

知識・技能　（５０点）

一　次の――線部について、漢字はその読みをひらがなに直し、ひらがなは漢字に直して書きなさい。ただし、送りがなが必要な場合は、必ず書くこと。　１点×20＝20点

① 文章の冒頭を読む。
② 世の無常を思う。
③ 旧暦の七月。
④ 俳句を詠む。
⑤ 古文を朗読する。
⑥ 春の名残を感じる。
⑦ 夏草が茂る。
⑧ 過ぎた日を惜しむ。
⑨ 随筆を読む。
⑩ 山里の趣。
⑪ うめの花がさく。
⑫ 冷たいかぜがふく。
⑬ かわの流れを見る。
⑭ この物語のさくしゃは不明だ。
⑮ 友にてがみを書く。
⑯ さくらの花が散る。
⑰ 月が明るくてる。
⑱ 代々つたわる話。
⑲ みじかい言葉で表す。
⑳ ゆきがふり積もる。

二

次の歴史的仮名遣いで書かれた言葉を、**現代仮名遣い**に直し、すべてひらがなで書きなさい。

2点×10＝20点

(1)　いふ

(2)　をかし

(3)　てふ

(4)　あはれ

(5)　ゐる

(6)　はぢ

(7)　みづ

(8)　なほ

(9)　くわじ

(10)　こゑ

※　語の最初にくる「は」「ひ」「ふ」「へ」「ほ」は、直さないことに注意しなさい。

三

次の古語について、後の問いに答えなさい。

2点×5＝10点

(1)　「**いと**うつくしうてゐたり」の「いと」の意味を、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　少し　　イ　非常に・とても　　ウ　いつも　　エ　やはり

(2)　「**あやし**がりて寄りて見るに」の「あやし」の意味を、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　不思議だ　　イ　美しい　　ウ　うれしい　　エ　さびしい

(3)　「いと**うつくし**うてゐたり」の「うつくし」の意味を、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　清らかだ　　イ　かわいらしい　　ウ　おそろしい　　エ　めずらしい

(4)　「**つとめて**、宿を立つ」の「つとめて」の意味を、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　早朝　　イ　努力して　　ウ　夕方　　エ　急いで

(5)　「竹取の翁といふ者あり**けり**」の「けり」が表しているものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　打ち消し　　イ　過去　　ウ　希望　　エ　命令

思考・判断・表現　（５０点）

四　次の「いろは歌」を読んで、後の問いに答えなさい。必要に応じて、教科書『国語１』（光村図書）の「古典の世界」のページを開いて確かめてよい。　50点

【かなで書いたもの】

いろはにほへと　ちりぬるを
わかよたれそ　　つねならむ
うゐのおくやま　けふこえて
あさきゆめみし　ゑひもせす

【漢字をあてて書いたもの】

色は匂へど　散りぬるを
我が世誰ぞ　常ならむ
有為の奥山　今日越えて
浅き夢見じ　酔ひもせず

（１）「いろは歌」とは、どのような歌か。「**かな**」という言葉を使って、**二十五字以上三十五字以内**で書きなさい。　5点

（２）いろは歌の中の次の言葉を、**現代仮名遣い**に直し、ひらがなで書きなさい。　2点×３＝６点

①　にほへと　　②　うゐ　　③　ゑひ

（３）いろは歌は、古くからどのようなことに使われてきたか。あてはまるものを次から一つ選び、記号で答えなさい。　3点

ア　神社でおまいりのときにとなえる、祈りの言葉として使われた。
イ　かなの練習や、物事の順番を示すものとして使われた。
ウ　子どもに漢字の筆順を教えるために使われた。
エ　和歌の作り方を覚えるための見本として使われた。

（４）「色は匂へど散りぬるを」は、どのような自然のありさまを表し、そこにはどのような考え方がこめられているか。「**無常**」という言葉を使って、**三十五字以上四十五字以内**で書きなさい。　6点

四　（つづき）

（5）次の①～⑤の作品の説明として最もあてはまるものを、後のア～オから一つずつ選び、記号で答えなさい。［1点×5＝5点］

① 竹取物語　② 枕草子　③ 平家物語　④ 徒然草　⑤ おくの細道

ア　江戸時代に松尾芭蕉が書いた、俳句をふくむ紀行文。

イ　鎌倉時代の末に兼好法師が書いた随筆。

ウ　平安時代の初めごろにできた、だれが書いたかわからない物語。

エ　鎌倉時代にできた、武士の戦いを語る軍記物語。

オ　平安時代に清少納言が書いた随筆。

（6）（5）の①の作品の主人公で、竹の中から見つけられた人物の名前を書きなさい。［2点］

（7）次の旧暦の月の呼び名は、それぞれ今の何月にあたるか。漢数字で書きなさい。［1点×3＝3点］

① 睦月　② 弥生　③ 師走

（8）旧暦では、一月から三月までがどの季節にあたるとされていたか。あてはまるものを次から一つ選び、記号で答えなさい。［2点］

ア 春　イ 夏　ウ 秋　エ 冬

（9）次の①・②に答えなさい。［2点×2＝4点］

① 和歌が「みそひともじ」とも呼ばれるのはなぜか。あてはまるものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　三十一人の歌人が集まってよんだから。　イ　全体の音の数が三十一になるから。

ウ　三十一の季語を使う決まりがあるから。　エ　毎月三十一日によまれたから。

② 俳句は、全体で何音からできているか。漢数字で書きなさい。

（10）和歌と俳句は、形式の上でどのようにちがうか。**音の数にふれて、二十五字以上三十五字以内**で書きなさい。［4点］

（11）あなたは、古典を学ぶことにどのような意味があると考えるか。このテストで学んだことをふまえて、**六十字以上八十字以内**で書きなさい。［6点］

（12）古典について述べたものとして、正しいものを**全て**選び、記号で答えなさい。【完答】［4点］

ア 「平家物語」は、琵琶法師などによって語りつがれてきた。

イ 「徒然草」は、「つれづれなるままに」という書き出しで始まる。

ウ 俳句には、季節を表す言葉（季語）を入れるのが決まりとされている。

エ 「竹取物語」は、中国で生まれた物語を日本語に直したものである。

オ 旧暦では、十月から十二月までが秋にあたる。

解答用紙①　知識・技能

中学１年　国語科　教材別テスト⑩「古典の世界」

１年	組	番	氏名	

知識・技能　小計

一　漢字 （１点×20）	①		②	
	③		④	
	⑤		⑥	
	⑦		⑧	
	⑨		⑩	
	⑪		⑫	
	⑬		⑭	
	⑮		⑯	
	⑰		⑱	
	⑲		⑳	

二　歴史的仮名遣い （２点×10）	(1)		(2)	
	(3)		(4)	
	(5)		(6)	
	(7)		(8)	
	(9)		(10)	

三　古語の意味・ 古文の基礎 （２点×５）	(1)		(2)	
	(3)		(4)	
	(5)			

解答用紙②　思考・判断・表現

中学１年　国語科　教材別テスト⑩「古典の世界」

１年	組	番	氏名

思考・判断・表現 小計	合計（100点満点）

四　いろは歌と古典常識（50点）	(1)			
	(2)①		(2)②	
	(2)③		(3)	
	(4)			
	(5)①		(5)②	
	(5)③		(5)④	
	(5)⑤		(6)	
	(7)①		(7)②	
	(7)③		(8)	
	(9)①		(9)②	
	(10)			
	(11)			
	(12)			

※　記述問題は、解答欄におさまるように、ていねいな字で書きなさい。句読点も一字と数えます。（１）（10）は25～35字、（４）は35～45字、（11）は60～80字です。